

九州運輸局メールマガジン 平成27年4月16日 第304号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

次回発行日は平成27年4月30日(木)です。

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

第304号の内容は次のとおりです。

## 目次

### 1 トピック

・九州国際大学附属中学校新聞部が「2014年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」日本海事広報協会会長賞を受賞！

### 2 現場レポート

・くまモンのICカードいよいよ運用開始

### 3 地域公共交通に関する情報

### 4 お知らせ

### 5 イベント情報

### 6 着任挨拶

### 7 九州運輸局ホームページアップ情報(4月2日～4月15日掲載分)

## 1 トピック

**九州国際大学附属中学校新聞部が「2014年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」日本海事広報協会会長賞を受賞！**

(公財)日本海事広報協会主催の「2014年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」の発表会及び授賞式が去る3月26日に東京海洋大学にて行われ、380点の応募作品の中から北九州市にある九州国際大学附属中学校新聞部が日本海事広報協会会長賞を受賞しました。

ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞は、海事産業に対する児童生徒の意識向上を図るため、全国の小中高校生を対象に海事産業に係る取材・調査をして新聞形式にまとめた作品を募集・授賞するもので、国土交通省も後援しています。

九州国際大学附属中学校新聞部の受賞作品「夕日に染まる洞海湾」は、5人の部員が身近な洞海湾にスポットを当て、洞海湾の歴史・工場群の夜景・洞海湾を往来する船・管制信号・洞海湾博士(漫画)について調査を行い仕上げた素晴らしい作品です。

また、同じく北九州市の福岡県立八幡高等学校新聞・文芸部の作品「八高タイムズ」も高校生部門の優秀作品に選ばれ佳作を受賞しました。

受賞作品「夕日に染まる洞海湾」「八高タイムズ」は4月13日～30日まで国土交通省(東京都千代田区霞が関)1階の展示コーナーに他の作品と一緒に掲示されています。東京へお立ち寄りの際は是非足をお運びください。

・「夕日に染まる洞海湾」は次のURLからご覧になれます。

[https://www.kaijipr.or.jp/jsj/2014\\_pdf/prize\\_kaicyo01.pdf](https://www.kaijipr.or.jp/jsj/2014_pdf/prize_kaicyo01.pdf)

【海事振興部旅客課】

## 2 現場レポート

### くまモンの IC カードいよいよ運用開始

熊本県内のバスと熊本電鉄の電車で利用できる熊本地域振興 IC カード（通称、くまモンの IC カード）の運用が 4 月 1 日より開始され、サービスインセレモニーが開催されました。

セレモニーでは、九州産交バス株式会社の森社長による主催者代表挨拶の後、本田熊本運輸支局長が「国としても公共交通の分野における利用者利便の向上や利用促進を目的として IC カードの導入を推進している。多額の費用負担や全国 IC カードとの相互利用サービスへの対応問題などさまざまな課題があったが、関係者の努力により運用を開始できることになった。」と関係者への感謝の意を表した祝辞を述べました。

次に、熊本県知事（代理、小野副知事）、熊本市長（代理、永山都市建設局長）、田川熊本商工会議所会頭の祝辞の後、熊本県営業部長代理（現在、減量失敗で降格中）のくまもんを交え、出席者によるテープカットとラッピングバスへの IC カード渡り初めが行われました。

また、当日は 5 種類 200 枚ずつの記念乗車カードが、セレモニー終了後に販売されましたが、先頭の方は午前 7 時前から並ばれ、発売開始時には約 300 名程度のお客様で賑わい、最終的には 1 時間程度で売り切れました。

今後は、本年 8 月から熊本市電での利用が可能になり、来年の 4 月からは、スゴカやニモカなどの全国カードで熊本県内のバス、熊本市電、熊本電鉄の電車で利用が可能となる予定です。

また、今回運用開始されたくまモンの IC カードは、交通乗車券機能に加え、商業施設等での買い物にも利用できる電子マネー機能を併せ持つ便利なカードであり、公共交通機関の利用促進とあわせ、県内の経済の活性化にも大きく寄与するものと期待されています。

出発式の模様は次の URL からご覧頂けます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_304\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_304_1.pdf)

【熊本運輸支局】

## 3 地域公共交通に関する情報

### 九州管内では、福岡市、八代市、水俣市、えびの市が「地域公共交通網形成計画」を策定

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 4 1 号）が平成 26 年 11 月 20 日に施行され、地域公共交通網形成計画（以下、形成計画という）の作成等、地方公共団体が先頭に立って、まちづくりと連携して、持続可能な公共交通ネットワークを実現するための枠組みが整備されました。

形成計画は、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。平成 27 年 3 月 11 日に福岡県福岡市が国土交通大臣へ形成計画を送付し、九州管内で初めて、政令市では全国で初めて

の計画となりました。同月 23 日には福岡県朝倉市、同月末には熊本県八代市と熊本県水俣市、今月 10 日には宮崎県えびの市から国土交通大臣への送付があり、九州管内の形成計画の策定・送付が続いております。

我が国の交通政策の長期的な方向性を踏まえつつ、政府が今後講ずべき交通に関する施策について定めた交通政策基本計画が平成 27 年 2 月 13 日付け閣議で決定されましたが、この基本計画の中で、形成計画の策定総数の目標は 2020 年度までに 100 件とされているところです。今後も福岡市や朝倉市等に続いて九州管内から形成計画が策定されることが予測されますが、地域の取組みが計画的に進められることで、限られた資源が有効に活用され、持続可能な地域公共交通網の形成が図られることが期待されます。

【企画観光部交通企画課】

#### 4 お知らせ

##### 「2015 年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」の募集が始まりました

今号のトピックでも紹介しました「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」の募集のお知らせです。

国土交通省では、将来の海事産業を支える児童生徒の海事分野への意識向上を図るため、(公財)日本海事広報協会が主催する「2015 年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」を後援しています。

全国の小中高校生を対象に「海事産業について取材・調査を行い、新聞形式にまとめた作品」を募集・授賞するもので、2014 年度は審査委員にアグネス・チャンさん(歌手・教育学博士)等を招き、優秀賞の発表・授与式が行われました。

九州運輸局メルマガ読者の皆さん、ご自分の子供さんや知り合いの子供さん、小中高校の先生方へ是非ご案内ください。

募集要項は(公財)日本海事広報協会の H P から

<https://www.kaijipr.or.jp/jsj/index.html>

【海事振興部旅客課】

---

#### 佐賀県のトラガールを紹介しています～トラガール情報を更新～

国土交通省ではトラック産業の活性化に向け、女性トラックドライバーの活躍を支援しています。昨年 9 月 25 日発行の 279 号でも紹介しましたとおり、国土交通省ホームページでは「トラガール」(女性トラックドライバー)の活躍やインタビューなどを紹介する「トラガール促進プロジェクトサイト」を随時更新しています。

今回更新された「トラガールの軌跡」では、九州の佐賀県で活躍している有田陸運株式会社鳥栖営業所のトラガールを紹介しています。是非ご覧ください。

今後もトラガールへのインタビュー掲載を含め、サイト内容の充実強化に努めていきます。ご期待ください。

「トラガールの軌跡」の URL からこちらから

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/kisekitop.html>

「トラガール促進プロジェクトサイト」へは次のURLからどうぞ

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/>

【自動車交通部貨物課】

## 5 イベント情報

### 2015九州ボートショーin福岡

日時：4月18日（土）～4月19日（日）＜両日とも午前10時～午後5時＞

場所：福岡市東区大岳4丁目2-61 福岡マリーナ特設会場

概要：九州最大のボートイベント「九州ボートショーin福岡」が今年も開催されます。ボートの試乗や水上バイクの操船体験、クイズラリー&抽選会など、様々なイベントが満載です。ご家族で、カップルで、仲間同士で遊びに来ませんか？

詳しくは、九州ボートショーHPをご覧ください。

<http://www.marine-festa.com/>

九州運輸局は「2015九州ボートショーin福岡」を後援しています。

## 6 着任挨拶

4月1日付けで総務部長を拝命しました中下でございます。

総務部の仕事は大きく二つに分けられます。一つは職員がスムーズに業務を遂行できるよう環境づくりを行うこと。二つ目は鉄道・自動車・船舶の各モードを横断して運輸事業の安全を確保することや、防災・危機管理、広報など外向きの業務を迅速かつ的確に遂行していくことです。

特に最近では異常気象による自然災害も各地で発生しており、更に昨年は鳥インフルエンザの発生もありました。九州運輸局でも危機管理体制を構築しているところではありますが、効果的な訓練を実施するなど工夫を行い、いつ・何が・どこで発生しても、全職員が緊急時に対応できる体制を維持していけるよう万全を期したいと思っております。

しかしながら行政のみではできることも限りがございます。つきましては関係者皆様方のご支援ご協力を賜りながら、九州の元気を創っていきたく存じますので、よろしくお願い申し上げます。

九州運輸局総務部長 中下 真一

-----  
この度、交通環境部長を拝命しました福山と申します。どうぞよろしくお願い致します。

前任地の下関は、間近に見える国際旅客ターミナルには毎日大型フェリーが出入りし、眼下では韓国からのコンテナや鮮魚などの港湾荷役作業が見え、事務所周辺には大型冷蔵倉庫や中小造船所などもあり、海事産業を身近に感じられる素晴らしい環境でした。

今回、福岡勤務となり、開放感一杯の職場から一転して毎日ビルの側壁を見ながらの仕事は少し窮屈に感じているところです。

交通環境部は、人々の暮らしを支え、環境・バリアフリー・情報化や効率的な物流

システムの形成など九州における交通環境等に対応した様々な施策を総合的に推進しております。

少しでも前進させていくためには、モード横断的な取り組みが重要になると考えていますので、関係者皆様のご理解・ご協力を頂きながら頑張っていく所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

九州運輸局交通環境部長 福山 二也

-----  
4月1日付けをもちまして鉄道部長を拝命しました前本でございます。

前任地の鹿児島勤務は、奄美勤務以来であり、鹿児島市居住は初めてでした。赴任するまでは、桜島の噴火・爆発による降灰が大変では？ところが、去年は、噴火回数が大幅に減少、夏場の鹿児島市内への影響も少なく、業務に支障が出ることがなく助かりましたが、今年は反動からか、早々から噴火、爆発回数も多く、3月に入ってから、1日間の噴火回数が過去最高(31回)を記録。さらには、1ヶ月間の最高記録も更新(178回)しております。火山災害への危機意識を常に持つての業務でありました。

4月からの鉄道業務も同じく、危機管理意識を常に持ちながら、情報の提供、情報の共有等を図り、安全・安心な鉄道の運行を確保するため、部一丸となって取り組んで参りたいと思います。

鉄道は、生活の足であり、観光のための公共交通でもあります。また、観光列車のようにそれ自体が観光素材でもあります。色々な分野の方々と接点を持っていかなければならないところであるため、情報共有、連携強化等を図っていきたく思いますので、関係者皆様のご協力をよろしくお願い致します。

九州運輸局鉄道部長 前本 浩嗣

-----  
このたびの異動で自動車技術安全部長を拝命いたしました斉野平でございます。

前任地の佐賀では、多くの方々のご指導・ご協力によりこれまで経験したことのないような業務も含め貴重な経験をさせていただきました。

燃料電池車関連の特許開放や自動運転車の実証実験など、近年、自動車の世界がこれまで以上に速度を増して変わりつつあります。

このような中で、自動車の安全性の確保と環境保全を推進することが、自動車の安全・安心について国民の信頼を維持するための自動車技術安全部のコア業務であると考えております。

また、平成25年12月の閣議決定によりまして自動車登録関係手続きのワンストップサービス(OSS)の運用開始を平成30年度に控え、速やかに対処すべき問題が山積しています。

これらの事案に関係者の皆様のご協力を頂きながら取り組んで参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

九州運輸局 自動車技術安全部長 斉野平 清己

-----  
4月1日付けで海事振興部長を拝命致しました杉町でございます。

3月までは交通環境部で、公共交通のバリアフリー化・情報化、物流（倉庫業を含めて）の効率化に加えて、交通機関の省エネ化、地球温暖化対策等の環境保全対策の推進について、関係する皆様方のご協力の下、モード横断的に取り組んで参りました。

この度着任しました海事振興部では、離島を含めた旅客航路事業、内航海運業、造船業、港湾運送事業、船員の就業促進・雇用対策という海事産業全般に亘って、その活性化と振興施策を担当いたします。

皆様方のご理解とご協力を頂きながら、様々な施策を総合的かつ一体的に推進して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州運輸局海事振興部長 杉町 敏紀

-----  
4月1日付けで海上安全環境部長を拝命した加藤と申します。

色々と転勤してきましたが職歴で一番長いのは、船舶の安全や海洋環境保全などの基準を作る業務です。船は世界中を動きますから、どの国も同じ基準にしておかないと問題が起こります。そのためには、船舶の基準は国際的に統一されていることが必要です。それを担っているのが国連の専門機関である国際海事機関(IMO)です。ロンドンにあり、あの有名な時計台のビックベン(英国国会議事堂)から近くのテムズ川河畔にあります。若い時期には、年間に10回のIMOの会議に参加し、ロンドン滞在期間約120日という時もありました。会議が終了し帰国、帰宅すると、生まれて間もない娘に、知らない人と間違われ泣かれた時には閉口しました。これからは、九州運輸局管内の船舶の安全確保という重責を担うこととなりますが、前例にとらわれず、新たな視点で積極的に取り組みたいと考えております。

ところで、趣味についてですが乗り物が大好きです。折角の九州在住の機会を捉えて、乗り船(こんな趣味有りましたっけ)、乗り鉄、バイクツーリングを楽しみたいと思います。

九州運輸局海上安全環境部長 加藤 隆一

#### 7 九州運輸局ホームページアップ情報 (4月2日～4月15日掲載分)

----- 報道発表 -----

#### 九州の外国人入国者数の推移について ～平成27年2月(速報値)～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/2015-0413-kokusai.htm>

「外国人旅行者向け消費税免税制度」に関する説明会を全国で開催します。～消費税制度の拡充(第2弾)について～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/2015-0414-kankou.htm>

----- お知らせ -----

消費税免税制度の改正により、免税カウンター等の申請の受付が始まりました。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2015-0402-kikakukankou.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0402-kikakukankou.htm)

自動車運送事業者の無事故表彰公示について

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2015-0407-hoankankyou.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0407-hoankankyou.htm)

「第2回 長崎交通圏タクシー準特定地域協議会」の開催並びに「タクシー利用者の意向の把握等のアンケート」の実施について

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2015-0407-ryokaku2ka.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0407-ryokaku2ka.htm)

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施公示

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況ちら

(自動車整備事業者 平成27年4月)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

----- 各種手続き -----

《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験

(口述試験の日割・筆記試験の科目合格発表・口述試験の日程・筆記試験の合格発表・総合合格発表)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

バス

(バスの申請・処分状況 3月分掲載)

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/bus/bus\\_syobun2703.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2703.pdf)

タクシー

(タクシーの申請公示状況 4月11日公示掲載)

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/taxi/taxi\\_kouji260411.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji260411.pdf)

(タクシー事業関係公示・一部変更)

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file13/ryokaku02-2015323-33-2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/ryokaku02-2015323-33-2.pdf)

トラック

(トラック事業関係公示・一部追加)

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file16/01\\_3\\_2015\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file16/01_3_2015_3.pdf)

//////// 編集部より //

この4月、九州運輸局メールマガジン編集部もメンバーが一新しました。九州運輸局のキャッチフレーズ「運輸と観光で九州の元気を創ります」に負けないよう、「メルマガで九州運輸局の取組を伝えます」を合い言葉に、様々な情報をタイムリーに発信していきます。

読者の皆様、どうぞご愛読願います。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本  
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192